

# 第6回青井復興まちづくり委員会

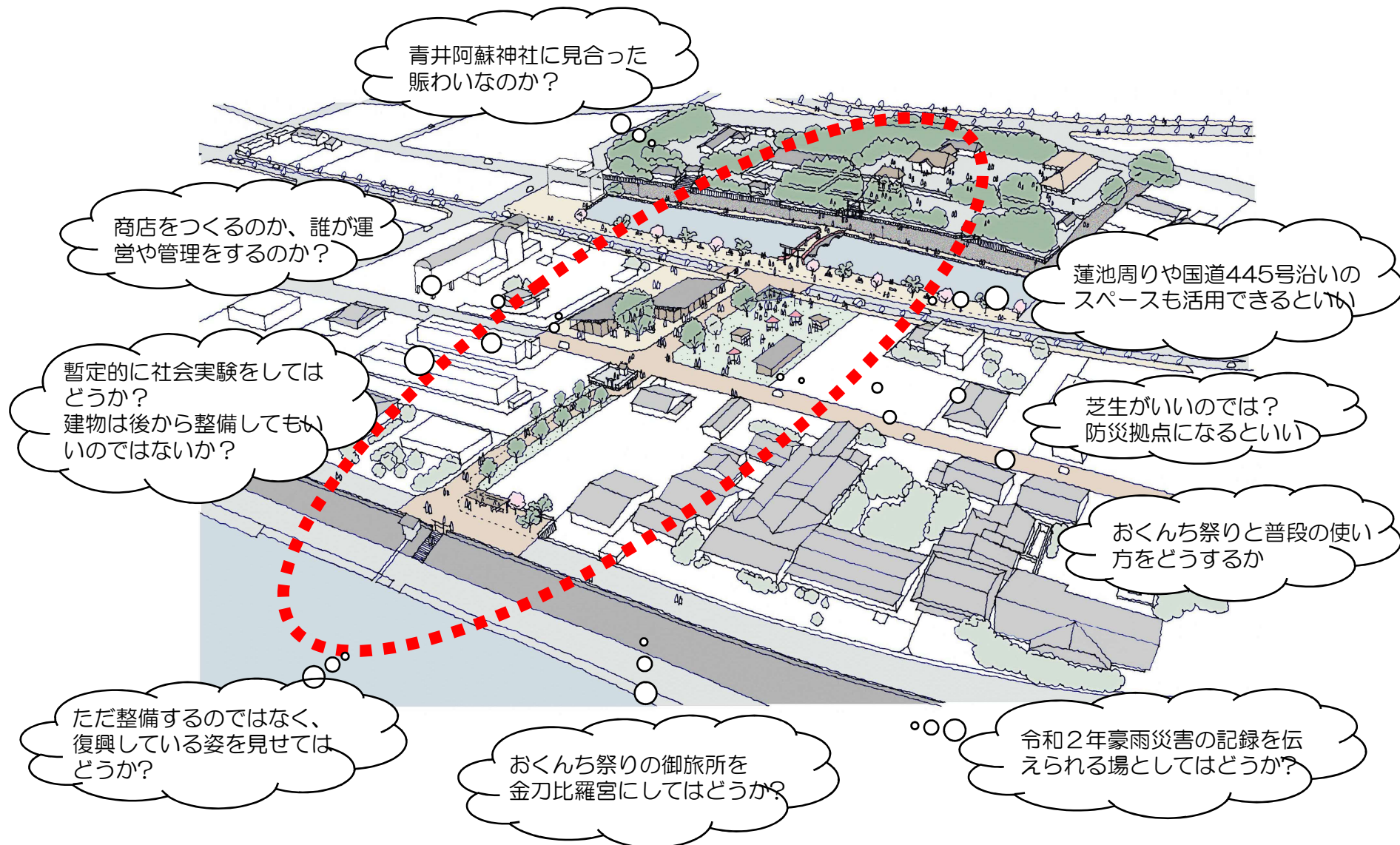
令和5年2月28日(火)18時30分～  
人吉市

## (3) 青井阿蘇神社周辺の賑わい創出について

<ポイント>

- 誰が、どのように使う場にしたいのか？
- どのような機能や設えが必要か？

## まちの将来像「青井阿蘇神社を中心とした歴史文化・賑わいの形成」イメージ図



※イメージ図であり決まったものではありません。今後、変更する可能性があります。

分類	賑わい拠点・公園に関連する主なご意見
<b>誰が</b> (ペルソナ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>地元の人</b>が喜ぶものなのか、<b>観光客</b>が喜ぶものなのか。</li> <li>・ お客さんが多く来る時に機能的であることと、普段もそれなりに風情があるというものを両立するのが課題である。</li> </ul>
<b>いつ、どう使うのか</b> (シーン、アクティビティ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>青井阿蘇神社に見合った賑わい</b>について、皆さんで共有していくべき。</li> <li>・ 青井阿蘇神社の趣を活かし、おくんち祭の際にも使いやすいものが良い。</li> <li>・ <b>おくんちの時</b>はこのような使い方、<b>普段</b>はこのような使い方、普通の<b>土日</b>はこのような使い方、という議論ができると良い。</li> <li>・ おくんち祭は、昔は蓮池を一周していたが、大正時代に外に出るようになり、中川原や人吉城址が御旅所になった。新たに公園を整備するのであれば、そこを<b>御旅所</b>にするのも良いのではないか。</li> <li>・ <b>水害があったという記憶</b>を伝えられる場として、<b>復興の途中段階</b>も観光客に見てもらえると良い。</li> </ul> <div data-bbox="1422 391 2004 486" style="border: 1px solid orange; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">             おくんち祭り以外の時の使い方              についてのご意見が少ない           </div>
<b>機能・設え</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土地を作れば誰かが来る訳ではないので、門前町としての<b>商店</b>などの機能や配置、建物なのかどうか、管理はどうするのかを、考えていく必要がある。</li> <li>・ <b>箱物</b>なのか、お店を出せるような<b>広場</b>なのか、芝生の公園なのか、どのような公園や広場なのか。</li> </ul>
<b>防災の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浸水した場所なので、建物を建てるのであれば留意すべきである。</li> <li>・ 地区内に<b>垂直避難できる高い建物</b>があると良い。既存の建物を活用して避難場所にできると良い。</li> <li>・ 水害だけでなく地震もあるので、公園などを作り、支援物資の拠点など、<b>防災の拠点</b>を作ってほしい。</li> </ul>
<b>段階的な活用・整備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>仮設的・暫定的にできる賑わいづくり</b>をして、<b>ソフトがハードに先行</b>しても良いのではないか。</li> <li>・ 公園と賑わい広場として<b>一体的なオープンスペース</b>にしておいて、賑わいが出てくれば、<b>定期借地などの手法で後から建物を整備</b>しても良いのではないか。</li> </ul>
<b>周辺との連携</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>神社と蓮池の間の道や国道445号沿いのスペース</b>の活用も念頭におきながら、賑わい拠点を検討した方が良い。</li> <li>・ <b>高野寺など周りとの連携</b>しながら、皆さんで寄ってくつろげるような、ここに来て良かったと思えるような場所になると良い。今は公園の中でも色々とできるようになっている。</li> </ul>
<b>駐車場・公共交通・動線</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人吉球磨の観光において青井阿蘇神社が一番に位置付けられるので、今の青井阿蘇神社の駐車場だけでは不足するのではないか。<b>人吉駅周辺からの広域的な動線を考えて、回遊するような位置に、駐車場の配置</b>を考える必要がある。</li> <li>・ 駐車場の配置やサービス動線も考えないと、賑わい施設も上手くいかない。</li> <li>・ <b>観光バスの乗降スペース</b>や停めておく場所も必要ではないか。</li> </ul>

# 3 青井地区の賑わいづくりのイメージ <誰が、いつ、どう使うのか？>

## <誰が（ペルソナ）>

その人の人物像は？  
年齢、性別、居住地、  
職業、趣味、価値観、  
家族構成等

## <いつ（シーン）>

皆さんで意見交換  
(下図は一例)

## <どのように使うのか（アクティビティ）>

その場所でどのように過ごしたいか？  
どのような活動をしたいか？

### ・ 住民



例：青井幼稚園に通う親子



例：町内会（住民）

### ・ 観光客



例：高齢者の観光客

### ・ 来訪者



例：子育て世代の観光客

平日

土日

お祭り

発災時

カフェでお茶をする  
川に親しむ、水にふれる



事例：長門湯本温泉  
マルシェ・フリーマーケット

地域の歴史や水害の記憶を学ぶ  
地域の語り部が伝承する



事例：熊本城彩苑桜の馬場  
食事処・甘味処で味わう



事例：立川市子ども未来センター  
おくんち祭で、御神輿が巡幸する



事例：阿蘇神社参道  
縁日・屋台で楽しむ



炊き出しをする、物資を運ぶ



一時的に集合して避難する

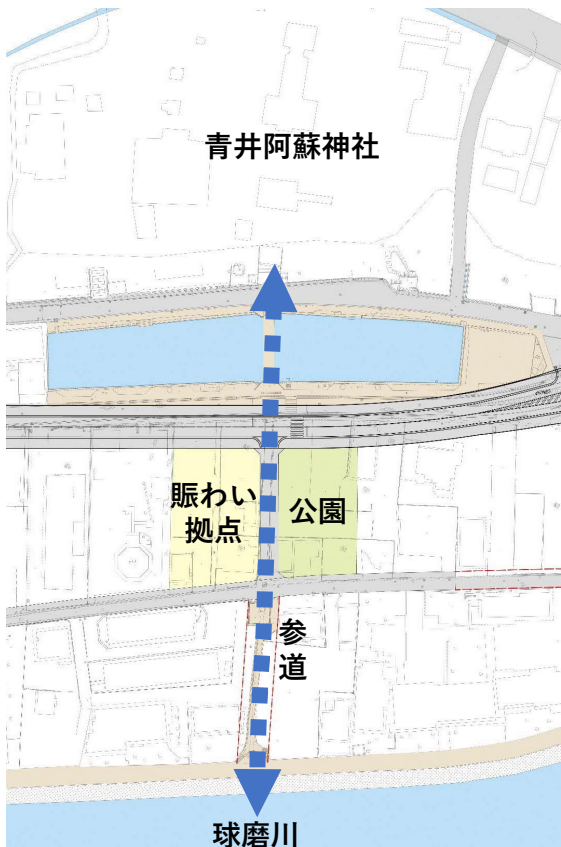
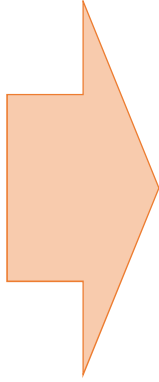


その場所の過ごし方

<誰が（ペルソナ）>

<いつ（シーン）>

<どのように使うのか  
（アクティビティ）>



機能や設え

どのような機能や設えが必要か？

子どもが安心して遊べ、  
親がお茶できる場所 など



青井阿蘇神社の門前としての  
賑わいを創出する拠点



- 飲食店・カフェ+土産物等の店舗
- 地域の歴史や水害の記憶の伝承の場
  - 当時の状況を写真や映像で伝える
  - 地域の人が語り部として伝える
- 観光案内・情報発信スペース

おくんち祭りなど様々な  
イベントに使える公園



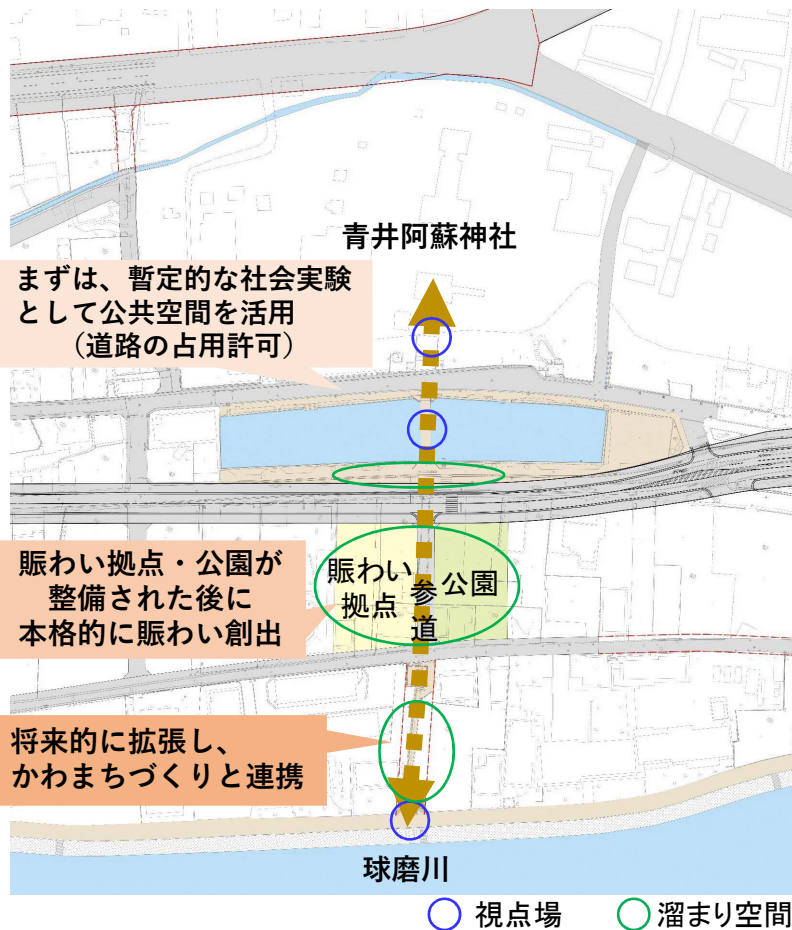
- 多目的イベント広場
  - おくんち祭りの御旅所
  - 各種イベントスペース 等  
(芝生・緑地/インターロッキング)
- 一時避難場所としての防災機能
  - トイレ、防災備蓄倉庫
  - 防災かまどベンチ、マンホールトイレ
  - 雨水貯留浸透施設（雨庭） 等

青井阿蘇神社と球磨川を  
結ぶ参道

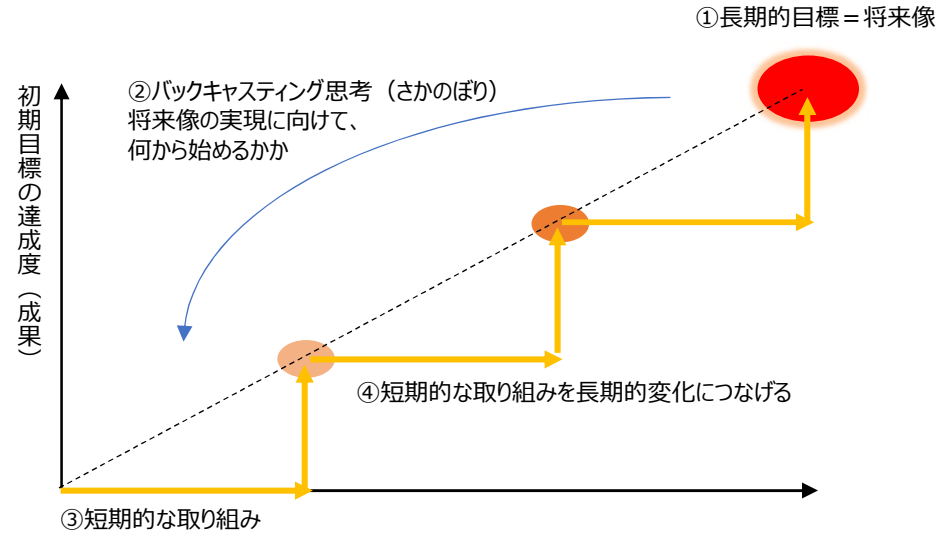


- 青井阿蘇神社と球磨川と結ぶ歴史を感じる歩行者空間、沿道と一体となった景観形成  
(石畳、祓川の水の景)
  - 球磨川のかまちづくりと連携した  
まちなか回遊軸の形成
    - 参道を球磨川まで繋ぎ、川へ降りたり、舟で川下りできる施設整備
    - 金刀比羅宮の存置、御旅所
- ※シーンによって、道路空間の活用・運用方法を変える（シェアードスペース）

## 公共空間活用の展開イメージ



## 長期的な目標に向けた短期的な取り組み



社会実験の結果を活かして本設のハード整備

社会実験の結果を踏まえ、機能・設えや事業手法・仕組みを検討

### 暫定的に公共空間等で社会実験として賑わいを創出

- ・ やりたい人で、できることから始める
- ・ ニーズ検証、事業性検証
- ・ まちの将来像を市民に周知
- ・ 将来的な風景のイメージ喚起
- ・ 人通り、賑わいの創出

まずは、できることからやってみませんか？